船橋市長賞

税金は正しく活用されているのか

船橋市立行田中学校
第二学年　向後　瑞稀

みなさんは私たちが払っている税金の使われ方について知っていますか？私たちの納めた税金は、主に私たちの健康や安全、暮らしを支える「公共サービス」や「社会のインフラ維持」に使われています。しかし、これらの予算が本当にすべて無駄なく「正しく」活用されていると言えるのでしょうか。

そこで税金が正しく使われているのか調べてみました。すると会計検査院などの調査で毎年数百億円規模の不適切な支出や無駄遣いが見つかっている事が分かりました。しかし国の税収は六年連続で過去最高を更新しています。税金の無駄遣いは毎年数百億円あるのにもかかわらず、税収は毎年増えているのです。また、会計検査院の調査で数百億円の無駄遣いが見つかり、指摘されているのにもかかわらず、なぜ毎年改善されずに数百億円の無駄遣いが見つかっているのでしょうか。

その背景には、予算を「使い切ること」が目的化してしまいがちな行政の仕組みがあります。民間企業とは異なり、予算を残すと翌年の予算が減らされてしまうため、必要性の低い事業に資金が回ってしまうという構造的な問題が指摘されています。また、会計検査院が無駄を指摘しても、法的強制力が弱く、根本的な罰則や改善に結びつきにくいという現状を知り、驚きました。

このような現状を打破するためには、会計検査院の法的強制力を今よりも高めるべきだと私は思います。どんなに調査で無駄遣いを発見しても、それを是正させる強い権限がなければ、同じ過ちが毎年繰り返されてしまうからです。厳格なペナルティを科せる仕組みへと改革し、実効性のあるチェック機能を果たすことが不可欠です。そうして浮いた数百億円もの予算は、子育て支援や教育の無償化、福祉の充実といった形で国民に還元されるべきだと私は思います。私たちが納めた税金が正しく活用されれば、国への信頼も深まるはずです。

今回、税金について調べてみて、税金は必ずしもすべてが正しく活用されているとは言えないことが分かりました。税金を無駄にせず、本当に必要なことに正しく活用していくことが大切だと思いました。